



Via Latina 22

2023年1月 317号

総本部よりのお知らせーマリア会

ベネディクト16世：安らかに憩われますように！	1
東アフリカ地区での終生誓願式	2
USA管区での任命	3
総長評議員会のメリバ管区への視察訪問	4
「共に歩む教会」に関するシノドスの各大陸での段階	5
サッカー万歳	6
苦しんでいる子供たちのための祈り	7
2022年物故者リスト、2023年誓願・叙階記念者リスト	9

ベネディクト16世：安らかに憩われますように！



名誉教皇ベネディクト16世の逝去の発表を受け、マリア会は、教会全体の祈りに合わせて、わたしたちの祈りを捧げます。ベネディクト16世はその思考の聡明さと明快さで良く知られ敬服されていた神学者であり教師でした。この点で、彼は大きな業績を残しています。何よりも彼はその生涯を通して教会の僕でした。彼は自分に委ねられた種々責務において絶えずこのことを示しました。

2005年4月24日、彼の教皇位就任ミサで彼は次のように述べました：
“私の真の統治計画は、私自身の意志を行い、私自身の考えを遂行することではなく、むしろ教会全体と共に主のみ言葉と意志に耳を傾け、主に導かれることです。こうして私たちの歴史のこの時に、主御自ら教会を導いてくださるでしょう。”

彼は前任の教皇ヨハネ・パウロ2世の直前の死去に言及して次のように言われました：“ 教会は生きていますーキリストが生きておられるので、教会は生きています、なぜならキリストは本当に復活しておられ、・・・この頃ずっと私たちはまた復活された主に、深い意味で、触れることが出来ているからです。私たちは、短い闇のときを経て、イエスが約束された喜びを彼の復活の成果として体験することが出来ています。”

これが今、教皇ベネディクト16世が体験していることです。私たちは教会の感謝の祈りと執り成しを願う祈りに加わります。教皇ベネディクト16世が安らかに憩われますように！

東アフリカ地区での終生誓願式

2022年12月10日、東アフリカ地区のマリアニスト家族は、Joel Kaira、Elvis Mwewa、そしてPhilip Adokaの 3名の兄弟たちの終生誓願式を執り行いました。色彩豊かで喜びに満ちた誓願式典はザンビア、ルサカのマリアニスト・マテロ・ボーイズ中学校の聖ヨゼフ聖堂の庭内で行われました。地区長、Stephen Wanyoike師が式典ミサを司式し、マリア会を代表して誓願を受け入れました。東アフリカ地区の評議員メンバー全員が誓願式に列席しました。この3名の兄弟たちを励ますためにザンビアとマラウィから来た幾人かの修道者もこの式に列席しました。この式典にルサカの大司教の総代理が出席されました。



共同式司祭たちに囲まれた
Joel Kaira士、Elvis Mwewa士、Philip Adoka士

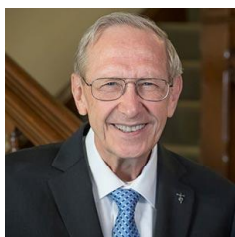
この誓願式は同時にCallistus Jeje師とPatrick Kagai士の修道誓願25周年を祝い神に感謝する機会でもありました。

地区長Stephen師はその説教で、アブラハムの忠実さと、キリスト者はどのように神に全幅の信頼を置くべきかについて語りました。彼は、忠実に献身し続けるように、そして聖母マリアへの自分たちの協力を決して拒むことが無いよう、誓願を立てる兄弟たちを励ましました。なぜなら神は彼らを信仰と信頼に呼んでおられるからです。“卒業”のないものとしての終生誓願宣立を皆に思い出させながら、彼は修道召命と終生誓願の宣立はその人が既に生きてきた生活の継続と確認であることを皆に気づかせました。それはその人の召命を深め、聖母マリア、教会、そしてマリア会の愛に深く成長

するようにとの呼びかけです。

参列者の中には、マリアニスト家族メンバー、聖ヨゼフ聖堂とマテロ小教区の信者たち、両親と親類、友人と誓願者の親しい人たちがいました。式典はマテロ・ボーイズのメインホールで提供された準備の行き届いた祝いの食事でも終了しました。また、マテロ・ボーイズの卒業生たちが、詩吟の腕前でゲストを楽しませてくれました。

USA管区での任命



マリア会総長、André-Joseph Fétis師は総長評議員会の全員一致でBernard Ploeger士をUSA管区、副管区長として3年間2期目に再任しました。彼の第2期は2023年7月1日に始まります。その期間は3年間です。Bernie士は管区のメンバーから圧倒的な支持を受けました。ほとんどの会員が、彼の最初の任務期間中の修道者への彼の兄弟的親密さ、そしてOscar Vasquez師と評議員会との良いチームワークなど、彼の優れた仕事をみています。

総長評議員会は、Bernie士がこの再任を快く引き受けられとことに感謝し、またBernie士に対して、総本部は管区のリーダーシップへの心から支援を約束します。

総長評議員会のメリバ管区への視察訪問

12月1日から19日まで、総長評議員会の4名のメンバーはUSA、ニューヨーク州のメリバ管区共同体とその事業体に歓迎されました。管区には3つの共同体があり、そのうち2つは彼らの教育事業に関わっており、3つ目は引退した会員の共同体です。管区は3つの大きな学校を運営しています：シャミナード高等学校（ミネオラ）、ケレンバーグ・メモリアル高等学校（ユニオンデール）、そして聖マルチノ・デ・ポレス・マリアニスト小学校（ユニオンデール）です。彼らは非常に献身的な一般信徒の協働者に支援されています。全体で4500名以上の生徒がいてロング・アイランド島でマリアニスト教育を受けています。学校に加え、管区は5つの黙想の家を運営しています。ロング・アイランド島の2つはそれぞれの高等学校のため、もう1つはニューヨーク市の北へ3時間ほどの場所にある、3つの学校で共有されているものです。年度の学期中に250以上の黙想会が行われ、それらは学校クラブ、学校スポーツチーム、卒業生、そして召命司牧のための黙想会です。



雪に覆われたFounders Hollowマリアニスト黙想の家

管区は34名の会員から成り、29名の修道士と5名の司祭で構成されています。これらのうち、27名が学校運営に現役で働いており、一方、5名が引退し、2名はローマ総本部で奉仕しています。約2年前、管区はニューヨーク教区内の全てのカトリック初等教育を活性化するための責任を引き受けて欲しいとの司教からの要請に応えました。それで、自分たちの小学校、聖マルチノ・デ・ポレス・マリアニスト小学校に加え、管区の会員たちは教区教育事務所と連携して、“明の星イニシアチブ”を監督しています。この仕事で会員は教区全体で30以上の小学校に対する責任を負っています。



**クリスマスコンサート準備中の聖マルチノ・デ・ポレス
マリアニスト校の生徒たちをねぎらう総長アンドレ・フェティス**

彼らは更に新しい一校の開設さえ出来ました、グアダルupesの聖母小学校で、これは教区で最初の二言語使用のカトリック小学校です。この学校はラテンアメリカからの移民が多い地域に設けられています。この学校は有能な信徒のチームによって運営されており、またマリアニストの導きで生みだされる信頼と一緒に、学校は教区全体の導きの標識として成長してきました。



**無原罪のマリアの祝日にあたって
ケレンバーグ校の生徒たちに挨拶するアンドレ総長**

管区は熱心な共同体生活と霊的生活を生きており、その生活を彼らの生徒と協力者と一緒に自由に分かち合っています。また彼らは多くの召命司牧活動、特に在校生と卒業生の召命司牧活動にも関わっています。識別の過程を通して彼らに同伴することによって、在校時に始まり卒業後も長く継続す

る関係を保つ、多様で創意工夫に富んだ方法を可能にしています。この関係によって、近年、管区は何人かの若い召命に恵まれました。最近1名の終生誓願者が生まれましたが、彼はこの2年で3番目の終生誓願者でした。現在、1名の有期誓願者と1名の修練者がいます。



“お別れ”の食事会でもらったジャケットを披露する総長評議会のメンバー

総長評議員会は管区メンバーの皆さんと一緒にこの3週間を過ごせて幸いでした。それは、管区の皆さんもまた一緒に待降節を体験出来たので、特別な時でした。私たちは兄弟的もてなしを示された管区の皆さんに感謝し、また管区の皆さんとその宣教活動のために祈りをお約束します。

「共に歩む教会」に関するシノドスの各大陸での段階 (2022年10月～2023年10月)



去年10月で、教区と司教会議に捧げられた「共に歩む教会」のプロセスが締めくくられました。「共に歩む教会」の歩みは今、大陸での段階に入りました。それは依然として全ての神の民に関わることですが、今、それは7大陸毎の集会に従って調整されることになります。(北アメリカ；ヨーロッパ；アジア；中近東；ラテンアメリカとカリブ海；アフリカとマダガスカル；オセアニア)。

この次の段階の目標は、各教区と国という前段階の聞き取りで明らかになったことについて、識別を深めることです：開かれた質問、種々の洞察、そして全体ビジョン、特に大陸的観点からみた全体ビジョンなどです。この段階は私たちのマリア会のゾーンと同じレベルに相当するので、私たち皆にとって大変興味深いものです。

皆さんは下記のアドレスでこの大陸の段階について簡潔で、明快な記述を見ることが出来ます：
https://www.synod.va/content/dam/synod/common/infographic_continentale/EN-Infographic-Continental-Stage-Synod-2023.png

大陸段階についての作業文書：《あなたの天幕の場所を広くしなさい》（イザヤ54・2）は、世界の多くの地域から受け取った興味深い貢献を引用することによって、期日まで実践された考察を纏めます。この作業文書は、この“回心と改革の道”において、「共に歩む精神」に私たちが更に深く入るのを助けてくれます。共同体はこの有意義な文書を基に、自分たちだけで、或いはマリアニスト家族として討議することを勧められます。この作業文書は次のアドレスで種々言語にてダウンロード出来ます。
<https://www.synod.va/it/synodal-process/la-tappa-continentale/risorse-e-strumenti/documenti.html>

共に歩む教会の歩みを続ける全ての人たちに成功を祈ります：私たちの幕屋の場所を広くしましょう！

サッカー万歳



ワールドカップをとりまく論争、すなわち、売られたり、自らを売り込むサッカー選手や、大金が動く取引を超えて、サッカーは、皆さんが良き勝者、善き敗者である限り、皆さんを結びつけ、夢中にさせ、幸せにします！

多くの人々は《PK戦》は好きではありませんが、しかし大喜びする勝者は必ず必要です。ファウステイーノが自分のチームと共に勝敗で一喜一憂したことは確かでしょう！

その日記で、ファウステイーノは自分の日常生活、つまり神様、他の人々、自分自身、そしてサッカーとの自分の関係についてのいくつかの記述を、次のように詳しく物語っています。

“私は聖体拝領をしなかったのが残念です。私は今朝ロザリオを唱えました。私は午後10分間キリストと話しました。相手チームが私たちを6-4で負かしたのは残念です。午後、私たちは3本の映画を見ました、それは「人類の役に立つ原子」、「サテライトVanguard」、そして「AX-80」です。私は11:15頃就床しました”（1960年11月18日）。

ファウステイーノは意志が強く、彼は始めたことを最後までやり通すことを強く望み、そして悪化する病気にもかかわらず、彼は独自の“枠内シュート”を設定します。

- * 毎日のロザリオ
- * 10分か20分の祈り
- * 毎日の意識の究明
- * 朝のマリアへの奉獻と午後3時の祈り
- * 私の姉妹から始めて、全ての人を神の子供として見る
- * 愛のために苦痛を受け入れる

このプログラム全体は、勝利のゴールに到達するために真剣な実践を要求します：：すなわち、《聖なる人になること、それは神を愛することであり、そしてそれはおとめマリアと一緒にならもっと容易です》。

苦しんでいる子供たちのための祈り

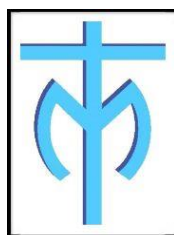
依然として奴隷とよく似た状況の中で苦しみ生きている多くの子供たちがいます。これらの子供たちは数字ではありません：彼らは名前を持ち、自分自身の顔もち、神様が彼らにお与えになった個性を持つ人間なのです。

あまりにもしばしば、私たちは自分たちの責任を忘れ、遊んだり、勉強したり、夢見たりする権利を持たないこれらの子供たちからの搾取について目を閉じています。これら子供たちは家族の暖かさを享受することさえありません。

社会の端に追いやられ、家族から見捨てられ、学校にも行けず、医療ケアも受けられない子供一人一人は、助けを求める叫びです！これは、神に向かって立ちのぼり、我々大人たちが築き上げてきたシステムを恥じる叫びです。見捨てられた子供は私たちの過ちです。子供たちが孤独で見捨てられたと感じるのをこれ以上許してはなりません—彼らは教育を受ける権利があり、神様は自分たちを忘れていないと知るために、家族の愛を感じる権利があります。苦しんでいる子供たち、特に、ホームレス、孤児、戦争の犠牲者である子どもたちのために祈りましょう。

教皇フランシス、2022年11月

苦しんでいる子供たちのための祈り



主よ、私たちの世界をご覧ください、
あなたは、正義と平和がこの世界に行き渡るよう望まれました。
しかしながら、私たちのただ中には、こんなにも多くの子供たちが苦しんでいます：
傷つきやすい子ども、難民となった子ども、住むところなくなった子ども、
見捨てられた子ども、しばしば虐待され、あるいは搾取された子供たちです。
清潔な衛生状態と教育を奪われるので、彼らは戦争の最初の犠牲者であり、
あるいは自然災害や気候変動の最初の犠牲者です。
主よ、私たちの最も身近にある状況に私たちが無関心にならないようにしてください、
そこでは緊張、暴力、分裂、離婚が、共に生きることの調和をむしばんでいます。
あなたの模範に従って、全ての人々が困窮している子供たちの世話ができますように！
あなたのみ国が来ますように！
アーメン。

最近の総本部通信

- 計報：36－39号
- 12月6日：2023年マリア会教育事業の統計のための情報要請、教育局長、Maximin Magnan士から行政単位の教育補佐あて3か国語にて送付
- 12月12日：The Madeleine, 総長評議員会から行政単位責任者あて3か国語にて送付

総本部日程

- 1月28日－3月25日：総長評議員会がUSA国管区を訪問

住所変更

シオン（スイス）のマリアニスト共同体の新しい住所：

Communauté marianiste
Foyer "Les Creusets"
Rue Saint-Guérin 36
1950 SION, Suisse

2023新年おめでとう！

“見よ、新しいことを私は行う。今や、それは芽生えている、あなた方はそれを悟らないのか。私は荒野に道を敷き、砂漠に大河を流れさせる。(イザヤ43・19)

Via Latina二つの共同体は全てのマリアニスト家族メンバーに幸多い新年のご挨拶を申し上げます。どうか主が私達を祝福してくださり、また、嵐の海の星であるおとめマリアの取り次ぎを通して、私達らが宣教活動において平静さを見出すことが出来ますように。

Necrology 2022

#	Name	Date	Place	Age	Prof.	Un
1	*Philip Karl Eichner	Jan. 1	Kingston, NY	86	67	ME
2	*Joseph John Uvietta	Jan. 9	San Antonio	90	71	US
3	*Harold James Bartlett	Jan. 10	Dayton	85	63	US
4	*Juan Cruz Perea Armentia	Jan. 15	Madrid	75	57	ES
5	Carmine Thomas Annunziata	Jan. 15	Nairobi	90	71	EA
6	*Cipriano Gutiérrez Riocerezo	Feb. 19	Santiago de Chile	85	67	CH
7	Francisco José García de Vinuesa	Zabala Feb. 21	Santiago de Chile	84	66	CH
8	Francis Spaeth	Mar. 16	Cupertino	98	72	US
9	*Robert Edward Hackel	Mar. 20	Cupertino	89	70	US
10	Ignacio Teixidor De Otto	Mar. 30	Vitoria-Gasteiz	89	69	ES
11	*Marcel Boisselier	Apr. 4	Bordeaux	89	69	FR
12	Peter A. Pontolillo Fensore	Apr. 12	San Antonio	83	64	US
13	*Stephen Tutas	Apr. 16	Cupertino	95	77	US
14	Akli-Esso Moïse Kola	Apr. 18	Lomé	30	3	TO
15	*Masahiro François-X. Tomiki	Apr. 25	Sapporo	89	70	JA
16	Jean-Paul Federneder	Apr. 28	Sion	80	59	SU
17	N'dri Aka Ferdinand	May 23	Abidjan	50	14	IV
18	*José Ramón García-Murga Vázquez	May 27	Madrid	85	66	ES
19	Normand Audet	June 12	Saint-Anselme	92	74	CA
20	*Roger Geysse	June 28	Rodez	99	81	FR
21	Robert Hanss	July 10	San Antonio	88	66	US
22	Jerome Matz	July 12	San Antonio	81	62	US
23	René Schauer	July 12	Issenheim	95	62	FR
24	*Bernard Vial	July 13	Pessac	97	80	FR
25	Josef Grünstäudl	July 16	Tragwein	81	63	OE
26	Francis Joseph O'Donnell	July 22	Baltimore	79	62	US
27	*Patrick Bernard Philbin	July 25	Orange	89	69	US
28	Robert John Juenemann	July 28	Cupertino	87	66	US
29	Julio Manrique Hierro	July 30	Madrid	81	64	ES
30	*Franz Ketter	Aug. 4	Rainbach im Innkreis	83	62	OE
31	Ángel Aguillo Martínez	Aug. 22	Madrid	80	62	ES
32	Chung Han Beda Ahn	Aug. 30	Incheon	76	43	KO
33	Harry Cornell	Sep. 19	San Antonio	81	63	US
34	James Maus	Oct. 26	San Antonio	79	60	US
35	Gregorio Larrea Urtaran	Nov. 5	Madrid	89	72	ES
36	*Yoshihiko John Yamasaki	Dec. 15	Himeji	88	65	JA
37	Ignacio Calzada Varona	Dec. 24	Logroño	83	65	ES
38	Rudolf Plötzeneder	Dec. 24	Linz	83	35	OE
39	Alva James Gillis	Dec. 31	San Antonio	92	37	US

JUBILARIANS 2023

January 20

(50° ordination)

*Janson, Christian Aloysius (US)

February 2

(25° profession)

Kim, Chang-Sup Paul (KO)

February 11

(60° profession)

Nussbaum, Donald Robert (ME)

Smith, Donald Louis (US)

March 19

(75° profession)

*Maegawa, Iwao Pierre (JA)

March 24

(50° ordination)

*Battiston, Dino (IT)

March 25

(60° profession)

*Aoki, Isao Jean-Baptiste (JA)

Nakaki, Kumao Michel (JA)

March 30

(60° ordination)

*Atucha, Juan Bautista (ES)

*Bielza, Enrique (LA)

May 1

(25° profession)

Ambrose, Arokia Doss (IN)

Ekka, Sanjay (IN)

*Kandulna, Rajesh Kumar (IN)

Kerketta, Oscar (IN)

Minz, John Gracious (IN)

June 6

(25° ordination)

*Boffelli, Gianpaolo (IT)

June 9

(50° ordination)

*Heft, James Lewis (US)

June 27

(25° ordination)

*Rambaud, Pablo (ES)

June 28

(25° profession)

*Bamana, Sylvain (FR)

*Kouao Akobé, Noël Dominique (IV)

July 21

(50° ordination)

*Arens, Eduardo (LA)

July 26

(60° ordination)

*Gastaminza, Fermín (ES)

*Otaegui, José Ángel (ES)

August 1

(25° profession)

*Mburu, Stephen Wanyoike (EA)

Ndung'u, Paul Kagece (EA)

*Ochieng', Michael Otieno (EA)

Okoth, Joseph Maricky (EA)

August 15

(25° profession)

García, Régulo (US)

(60° profession)

*Floriani, Loris (IT)

(70° profession)

Brisendine, DuWayne (US)

*DeLong, James Allen (US)

*Kaczkowski, Conrad (US)

*McMenamy, Alvin (US)

Schrader, Richard Joseph (US)

(75° profession)

*Hakenewerth, Quentin (US)

Kuntemeier, Albert George (US)

Larochelle, Jean-Marie (CA)

August 19

(50° profession)

Markel, Joseph John (US)

August 22

(60° profession)

Burkholder, James Francis (US)
Campbell, William (US)
Genovese, Joseph Anthony (ME)
*Long, Garrett John (ME)
Longbottom, Edward Joseph (US)
McBride, Lawrence (US)
*Royer-Chabot, Florian (CA)

(75° profession)

Hughes, Howard (US)

(80° profession)

*Jansen, Anthony Gerard (US)

September 5

(25° profession)

Dieste, Miguel Ángel (ES)
Gaztelumendi, Lander (ES)
*Pajuelo, Daniel (ES)

September 7

(25° ordination)

*Cho, Moon Hwan Louis (KO)

September 12

(60° profession)

*Amigo, Lorenzo (ES)
*Briones, Joaquín (ES)
Cuesta, Vicente (ES)
Gómez, Isaac (LA)
*González, Antonio (ES)

*Gutiérrez, José María (LA)

Hernández, Daniel (ES)

*Iceta, Ramón María (ES)

Marquínez, Tomás (ES)

*Orbegozo, Jesús María (ES)

*Osborne, José María (ES)

*Pardo, Ángel (LA)

*Tolsada, Diego (ES)

(70° profession)

*Giraud, Patrick (FR)

*Torres, Enrique (ES)

*Vega, Vicente Carlos de la (ES)

*Vicario, Julián (ES)

October 14

(50° profession)

Arsuffi, Giorgio (IT)
Bordignon, Roberto (LA)

October 21

(70° profession)

Landuré, Théophile (FR)

November 12

(75° profession)

*Vázquez, Fernando (ES)

December 26

(25° ordination)

*Betancur, Rodrigo Antonio (LA)